

日本の児童図書賞
Awards and Prizes for Children's Books in Japan

渡辺 茂男 *Shigeo Watanabe*

中野 訓枝 *Kunie Nakano*

岡 貴子 *Takako Oka*

Résumé

Awards and prizes for children's books in Japan for the last twenty years have encouraged young authors to write creative works and the publishers to endeavour to put out books in new fields, thus given a vital influence to the improvement of quality of children's books published in this country.

The winners of these awards and prizes have been announced annually on various places, but there has been no single list of awards and prizes for children's books made yet as a reference tool.

The compilers of the list have tried as far as possible to check the original documents preserved in the sponsoring agencies of awards and prizes, otherwise have traced the announcements appeared in different publications.

(Japan Library School)

前書き

芸術選奨文部大臣賞

児童福祉文化賞（厚生大臣賞）

講談社児童文学新人賞

国際アンデルセン賞国内賞

毎日出版文化賞

未明文学賞

NHK児童文学賞

日本児童文学者協会賞

日本児童文学者協会短編賞

野間児童文芸賞

サンケイ児童出版文化賞

小学館文学賞

小学館絵画賞

日 本 の 児 童 図 書 賞

前 書 き

戦後の児童図書は、学校図書館その他の読書施設の普及によって、その出版量が急激に増大し、またとりあげられる主題領域及び形態の多様さは、戦前のそれに比較すれば隔世の感を呈するようになった。また、読書指導の発達、批評活動の進歩、良書推薦運動の普及などにより、質的にも目ざましい向上を示してきた。

このような多面的な進歩発展に大きな刺激を与え、また、実質的な役割を果たしたものとして、各種の児童図書賞がある。児童図書賞として著名な外国の例は、ニューベリー賞(アメリカ)、コールドコット賞(アメリカ絵本)、カーネギー賞(イギリス)、グリーンナウエー賞(イギリス絵本)、アンデルセン賞(国際)などである。

わが国においても、昭和22年、毎日新聞社が、戦後の荒廃した世相の中で、出版文化の向上のために、毎日出版文化賞を設けたのをはじめ、新聞各社、NHK、厚生省その他の公共団体、報道機関が、児童図書を対象とし、あるいは、文化賞の中に児童図書賞を含めた表彰制度を設けて今日に至っている。また、その他、出版社が母体となり、他社の出版物をも含めた授賞制度、児童文学者協会のような専門家集団による表彰制度など、夫々独自の立場から、児童図書の質的向上に役割を果たしてきた。

最近に至り、アンデルセン賞制度への参加、外国の児童文学界との交流、児童文学の研究の進展などにより、児童図書賞そのものの意義及び評価が問題とされるようになった。しかしながら、戦後における日本の児童図書賞に関する網羅的な記録は皆無に等しく、たまたま事典類の付録として収録されたものも、断片的、部分的なものが多く、充分な参考資料となりえないのが実情である。

この調査は、可能な限り、授賞母体の保存する資料、記録に基づき正確を期したのであるが、賞によっては、既に、その制度が廃止され、記録が残されていないものもあり、完全無欠な記録を作成することは、不可能に近いことでもあった。また、受賞図書が絶版となり、版元が消滅など、日本の出版事情を示すような傾向も、この調査を困難なものとした。また、出版年鑑その他の全国的書誌に記録されない地方の団体あるいは個人による賞制度も相当数あると推測されるが、現状では手がかりとなる資料もなく、今回の調査の対象とはならなかった。

限られた収録範囲ではあるが、一応代表的な賞を網羅し、それを一覧して感じられることは、賞によって、候補作品の選択方法、基準に相当の差異があり、また、審査委員会の構成メンバーによって、受賞作品に傾向があることである。しかし、それは、個々の授賞制度、受賞作品を綿密に比較検討することによって具体的に論じられる問題であろう。

最後に、この資料の作製に当って、心よく記録を提供され、直接の質問に解答して下さった各団体の係の方々に感謝の意を表するものである。

芸 術 選 奨 文 部 大 臣 賞

文学・美術・演劇・映画・放送・音楽・舞踊・能楽・古典芸能・華道の各部門においてその年間に最も優秀な作品を発表し、今日までに文化的業績を残して来た人、及び団体に対して授賞する。主催は支部省で、昭和22年に創設された。文学部門は26年から実施された。受賞者には、賞状と副賞が授与される。選奨委員は次の通りである。

第 1 回 不明

第 2 } 第 3 }	回	久保田万太郎	波多野完治	小川未明	坪田譲治	豊島与志雄
		藤田圭雄	神崎 清	河盛好蔵	関野嘉雄	

第 4 } 第 5 }	回	久保田万太郎	壺井 栄	小川未明	神崎 清	堀尾 勉
		関野嘉雄	川端康成	浜田広介		

なお、31年以降には、児童図書の入選作品はない。

回(昭和)	著 者	書 名 (シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
1回(26)	石 井 桃 子	ノンちゃん雲に乗る	大 地 書 房	22	299
	竹 山 道 雄	ビルマの堅琴	中央公論社	23	235
2回(27)	壺 井 栄	母のない子と子のない母と	光 文 社	26	256
3回(28)	浜 田 広 介	坂道 他一連の作品 多年の日本童話に対する功績	「少年少女」	26	
4回(29)	サトーハチロー	しかられぼうず	全音楽譜出版	29	256
5回(30)	斎 田 喬	斎田喬児童劇選集	牧 書 店	29	253

児 童 福 祉 文 化 賞 (厚 生 大 臣 賞)

略称で厚生大臣賞と呼ばれる。昭和34年度から毎年、児童福祉週間(5月5日—12日)に際し、児童文化財及び児童福祉問題を取扱った出版物、映画等のうち、特に優秀な作品に対して、厚生大臣から贈られる。授賞作品は、中央児童福祉審議会が毎月各部門で推薦した作品の中から選ばれる。

児童図書の推薦は、日本図書館協会、全国学校図書館協議会、日本児童文学者協会、NHK読書委員会の四団体を推薦母体とし、原則として毎月一回、中央児童福祉文化財部会出版物部会で協議する。絵本については別に小委員会を設け、候補作品を選出して部会に提出する。毎年4月に、一年間に推薦されたものの中から優秀な作品を選んで特別推薦として発表し、その中で特に優れている作品に対して、5月に児童福祉文化賞が贈られる。今年度から朝日生命厚生事業団の協賛を得て、賞状と記念の楯の他に、副賞として、児童福祉文化賞に各10万円、児童福祉文化奨励賞に各5万円が贈られることになった。42年度の出版物部会及び絵本小委員会の委員は次の通りである。

出版物部会委員

萩原忠三	池田 鮮	大谷嘉朗	西 清子	波多野勤子	馬場四郎	石橋恒喜
小河内芳子	川田百合子	菅 忠道	神崎 清	佐々梨代子	竹田俊雄	滑川道夫
菱沼太郎	深川恒喜	柳沢彦三郎	四方田正作			

絵本小委員会

小河内芳子	川田百合子	佐々梨代子	竹田俊雄	柳沢彦三郎	四方田正作
-------	-------	-------	------	-------	-------

参考資料 こどものための文化財—中央児童福祉審議会推せん文化財目録

回(昭和)	著 者	書名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年 (昭和)	ページ
1回(34)	佐 々 木 た づ	白い帽子の丘	三 十 書 房	33	131
2回(35)	坂 本 遼	きょうも生きて 第1部父のない家 第2部天のふうせん			
3回(36)	山 中 恒 郎編	赤毛のポチ	東 都 書 房	34	268
4回(37)	国 分 一 太 郎編	日本クオレ 全3巻	理 論 社	35	
5回(38)	早 船 ち 雄	キューボラのある町	小 峰 書 店	35	264
	松 田 道 雄	君たちの天分を生かそう	弥 生 書 房	36	208
	中 川 李 枝子	いやいやえん	筑 摩 書 房	37	177
6回(39)	子どもの家同人編	つるのとぶ日—ヒロシマの童話—	福音館書店	37	176
7回(40)	内藤濯文 新井勝利絵	いっすんぼうし	東 都 書 房	38	
			至 光 社	40年3月号	20
	清 水 えみ子	ちがう、ぼくととりかえて —幼児のことは10年の記録—	童 心 社	39	254
8回(41)	加 藤 明 治	水つき学校	東 都 書 房	40	171
9回(42)	佐 藤 さとる	おばあさんのひこうき (創作幼年童話 9)	小 峰 書 店	41	78
奨励賞	中川李枝子作 山脇百合子絵 与田準一作 安 泰絵	ぐりとぐらのおきやくさま どこからきたの —こねこのびーた—	福音館書店	41	27
〃	今 江 祥 智	海の日曜日	童 心 社	41	32
			実業之日本社	41	195

日 本 の 児 童 図 書 賞

講 談 社 児 童 文 学 新 人 賞

児童文学界に新風を吹き込み、新しい創作の機運を呼び起こすことを目的として、昭和34年、講談社50周年記念事業の一つとして「児童文学新人賞作品募集」が発足した。それが昭和38年、第4回から「講談社児童文学新人賞」と名を改めた。

作品は次のようにして選ぶ。①毎年、児童を対象とする童話、少年小説、少女小説、探偵小説、探検冒険小説、時代小説、科学小説等で、原稿枚数100枚以上の自作、未発表の作品(但し、童話に限り60枚以上のものを認める)を公募する。②銓衡実施委員会で、応募作品を作者名、年令、経歴などを伏せて回読し、数編を選ぶ。③それを無記名で印刷し銓衡委員に配る。④最終銓衡委員会において入選作2編、佳作3編を選ぶ。入選作の作者には、賞状、記念品、副賞各10万円、佳作の作者には、各2万円が授与される。入選作品は、講談社発行の月刊誌、週刊誌の11月号に掲載される。入選作品は、講談社から出版される。

なお、銓衡委員は次の通りである。

第1回	江戸川乱歩	那須辰造	滑川道夫	浜田広介	林 房 雄	福田清人
	山岡荘八					
第2回	荒 正人	石森延男	久米元一	壺井 栄	波多野完治	浜田広介
第3回	荒 正人	石井桃子	石森延男	久米元一	坪田譲治	滑川道夫
第4回	石井桃子	源氏鶏太	滑川道夫	浜田広介	福田清人	与田準一
第5回	石井桃子	石森延男	北 杜夫	浜田広介	山室 静	与田準一
第6回	石森延男	北 杜夫	久米元一	壺井 栄	浜田広介	与田準一
第7回	久米元一	滑川道夫	中沢 聖夫	浜田広介	藤田圭雄	渡辺茂男

回(昭和)	著 者	書 名	出 版 社	出 版 年	ペ ー ジ
1 回(35)	入選 松谷みよ子	龍の子太郎	講 談 社	35	192
	" 吉田比砂子	雄介のたび	講 談 社	35	192
	佳作 山 中 恒	サムライの子	講 談 社	35	186
	" 森 一 男	金と銀の道	(未刊行)		
	" 佐 川 茂 造	足彦君海へ行く	(未刊行)		
2 回(36)	入選 西沢正太郎	ブリズム村誕生	講 談 社	36	194
	" 立原えりか	でかでか人とちびちび人	講 談 社	36	206
	佳作 山下 喬 子	プファ少年	講 談 社	36	202
	" 佐 川 茂	山男先生と人魚先生	(未刊行)		
	" 池 谷 二 郎	傷のある靴を捜せ	(未刊行)		
3 回(37)	入選 佐 川 茂	ミルナの座敷	講 談 社	37	174
	" 米 沢 幸 男	少年オルフェ	講 談 社	37	168
	佳作 那須田 稔	ぼくらの出航	講 談 社	37	184
	" 足 立 俊	川をはさんだ二つの国の物語	(未刊行)		
	" 向 山 武 道	コロリン山とコロの話	(未刊行)		
4 回(38)	入選 岩 崎 京 子	シラサギ物語	講 談 社	39	178
	" 竹 野 栄	ブチよしっかりわたれ	講 談 社	39	192
	佳作 大 橋 幸 子	霧の中を見るめがね	(未刊行)		
	" 荻原恵美子	「アンネ」と「アンヤ」	(未刊行)		
	" 藤 田 孝 美	カッパの国無銭旅行	(未刊行)		
5 回(39)	入選 福 永 令 三	クレヨン王国の12カ月	講 談 社	40	202
	" 赤 座 憲 久	白ステッキの歌	講 談 社	40	202

回(昭和)	著 者	書 名	出 版 社	出 版 年	ペ ー ジ
6 回(40)	佳作	山 県 喬	たこの木学校	(未刊行)	
	"	西村志津代	孔雀の羽	(未刊行)	
	"	皆 川 博 子	やさしい戦士	(未刊行)	
	入選	岡 村 太 郎	いつか太陽の下で	講 談 社	41 202
	"	生源寺美子	草の芽は青い (原名) 春をよぶ声	講 談 社	41 198
7 回(41)	佳作	香 山 彬 子	トウスケとチョウゲンボウ	(未刊行)	
	"	吉田蓉理子	クリの木の下で	(未刊行)	
	"	岡野美枝子	ヨシオの冒険	(未刊行)	
	入選	香 山 彬 子	シマフクロウの森	講 談 社	42 192
	佳作	香 山 彬 子	金色のライオン	講 談 社	42 165
	"	後 藤 竜 二	天使で大地はいっぱいだ	講 談 社	42 192
	"	勢田十三夫	ラーゲルの少年	(未刊行)	
	"	中 川 昭	ぼくの前に道はない	(未刊行)	

国 際 ア ン デ ル セ ン 賞 国 内 賞

1951年、世界の児童文学の向上をめざして、スイスのチューリッヒに、国際児童図書協議会が創立された。国際アンデルセン賞は、その会の事業のひとつとして制定されたもので、1956年から2年毎に、その期間に発表された現存作家の児童文学作品の中から、最優秀と認められる図書一点を選び、他の業績と共に、著者に正賞を与える。また、優良と認められる図書約15点に優良賞を与える。優良賞の他に、佳作賞を出すこともある。68年度からは絵画賞も新たに設けられた。

日本では、児童図書日本センターを組織して1960年に国際児童図書協議会に加盟し、国際アンデルセン賞の推薦母体となった。センターでは国際アンデルセン賞の規則に従って、二年間の国内の児童文学作品から、三点を選んで国際アンデルセン賞国内賞を与え、かつ候補作品として本部に推薦する。選考方法は、66年度までは、調査委員会で選んだ作品を更に詮衡委員会で検討していたが、68年度からは、まず詮衡小委員会で作品を選び、次に小委員会のメンバーに他のメンバーを加えた詮衡委員会で最終決定を行う、という方法をとっている。

審査員は、次の通りである。

昭和37年度 調査委員 (資料不足で不明)

詮衡委員；土岐善磨 阿部知二 今泉篤男 野上弥生子 浜田広介 福原麟太郎
藤沢衛彦

昭和39年度 調査委員 (資料不足で不明)

詮衡委員；阿部知二 与田準一 土岐善磨 浜田広介 他若干名不明

昭和41年度 調査委員会；小河内芳子 鳥越 信 那須辰造 福田清人 山室 静 神宮輝夫
石川春江

詮衡委員；今泉篤男 塚原健二郎 坪田譲治 浜田広介 藤沢衛彦 土岐善磨

昭和43年度 詮衡小委員；小河内芳子 白木 茂 神宮輝夫 鳥越 信 福田清人
詮衡委員； 詮衡小委員 土岐善磨 今泉篤男 関 英雄 初山 滋 松尾弥太郎

国内賞受賞作品は、読書新聞、図書新聞、日販、東販の速報、学校図書館の速報などの紙上で発表され、賞状と賞金一万円が贈られる。

日 本 の 児 童 図 書 賞

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
1 回(36)	松 谷 みよ子	龍の子太郎	講 談 社	35	192
	佐 藤 暁	だれも知らない小さな国	講 談 社	34	202
	いぬいとみこ	木かげの家の小人たち	中央公論社	34	188
2 回(38)	いぬいとみこ	北極のムーシカミーシカ	理 論 社	36	160
	浜 田 広 介	ないた赤おに	集 英 社	37	242
3 回(40)	石 井 桃 子	三月ひなのつき	福音館書店	38	95
	福 田 清 人	春の目玉	講 談 社	38	212
	椋 鳩 十	孤島の野犬 (少年少女教養文庫)	牧 書 店	38	226
4 回(42)	今 西 祐 行	肥後の石工	実業之日本社	40	209
	佐 藤 さとる	おばあさんのひこうき	小 峰 書 店	41	78
	安 藤 美紀夫	ポイヤウンベ物語 (世界傑作童話シリーズ11)	福音館書店	41	189
絵 画 賞	初 山 滋	もず	至 光 社	41	21

*「龍の子太郎」「春の目玉」は、アンデルセン賞国際委員会において、それぞれ優良賞、「北極のムーシカミーシカ」は佳作賞に選ばれた。

毎 日 出 版 文 化 賞

一般刊行物の中から優れた図書を選び、読者に推薦するとともに、わが国出版文化の向上に寄与する事を目的として、昭和22年、毎日新聞社が創設した。

授賞の対象は、年間出版物のうち、初版の新刊書で、その中から一般教養向きの良書約10冊を選ぶ。選出にあたって、7 月から9 月まで各出版社の自薦図書及び全国の読書人、文化団体等からの推薦図書を受けつける。東京と関西に、毎日新聞委嘱の審査委員会を設け、別個に審査を進め、最後に東京で合同審査会を開き受賞図書を決定する。審査委員は、各分野の学識経験者数十名であるが、児童文学部門は藤田圭雄氏に一任する。

受賞図書の発表は、現在は11月3日の毎日新聞紙上で行われる。受賞の著者又は編集者、翻訳者には10万円、出版社には賞牌が贈られる。

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
1 回(22)	緒 方 富 雄	みんなも科学を	朝日新聞社	22	210
2 回(23)	竹 山 道 雄	ビルマの竖琴(ともだちシリーズ)	中央公論社	23	235
3 回(24)	高 森 敏 夫	考える子供たち	角 川 書 店	24	250
4 回(25)	高橋 慎一 } 共著 松島栄一 } 宮森 繁 }	日本の国ができるまで	日本評論社	25	126
5 回(26)	小山書店 編	私達の生活百科事典 第1巻 家	小 山 書 店	26	160
	八 杉 龍 一	動物の子どもたち	光 文 社	26	156
6 回(27)	長 田 新 編	原爆の子	岩 波 書 店	27	310
7 回(28)	細 井 輝 彦	蚊のいない国	岩 波 書 店	28	254
8 回(29)	中教出版社編	学生の理科辞典	中教出版社	29	1430
	住 井 す え	夜あけ朝あけ	新 潮 社	29	209
9 回(30)	宮沢 俊義 } 共著 国分一太郎 }	わたくしたちの憲法	有 斐 閣	30	160
10回(31)	滑 川 道 夫 他 編	学校図書館文庫第一期 全50巻	牧 書 店	26-31	166
	平 凡 社 編	児童百科事典 全24巻	平 凡 社		
11回(32)	いぬいとみこ	ながいながいペンギンの話	宝 文 館	32	166

回)昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
12回(33)	野上丹治 } 共著 洋子 房雄	つづり方兄弟	理 論 社	33	303
13回(34)	沢 田 允 茂	少年少女のための論理学	牧 書 店	33	223
	佐 藤 暁	だれも知らない小さな国	講 談 社	34	202
14回(35)	坪 田 譲 治	新美南吉童話全集 全3巻	大日本図書	35	
15回(36)	寺 村 輝 夫	ぼくは王様	理 論 社	36	196
19回(27)	金田一京助 } 共著 荒木田家寿	アイヌ童話集	東 都 書 房	37	282
17回(38)	吉 沢 章	たのしいおりがみ	フレーベル館	38	22
18回(39)	至 光 社 編	おはなしのえほん	至 光 社		
19回(40)	中 根 美宝子	疎開学童の日記	中央公論社	40	234
20回(41)	該当なし				

未 明 文 学 賞

小川未明の日本の児童文学に対する貢献を記念し、併せて未明文学の伝統を継承するために、未明会が設けた賞である。年間に発表された作品の中より、ロマンチズム、ヒューマニズムの香り高い、文学性豊かな優秀作を選び、賞状および賞品が与えられる。

この賞は、昭和37年度をもって廃止された。

参考までに最終回の審査委員は、次の通りであった。

佐藤春夫、坪田譲治、浜田広介、塚原健二郎、与田準一、酒井朝彦、福田清人。

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
1回(33)	石 森 延 男	コタンの口笛 2巻 第1部あらしの歌 第2部光の歌	東 都 書 房	32	
2回(34)	宮 口 しづえ	ゲンと不動明王	筑 摩 書 房	33	267
3回(35)	塚 原 健二郎	風と花の輪	理 論 社	34	236
4回(36) 奨励賞	椋 鳩 十	大空に生きる (牧少年文学選)	牧 書 店	35	226
"	花 岡 大 学	かたすみの満月	百 華 苑	35	208
5回(37) 功労賞	酒 井 朝 彦	新,信濃むかし話 その他の作品	未 来 社	37	342
奨励賞	おおえ ひで	南の風の物語	理 論 社	36	222

日 本 の 児 童 図 書 賞

NHK 児 童 文 学 賞

わが国児童図書の発展および振興に寄与するため昭和37年に、日本放送協会によって制定された。

選考の対象作品は(イ)童話および少年少女向き小説など、(ロ)童謡・詩、(ハ)脚本(演劇・放送・映画の脚本を含む)で1月1日から12月31日までに発表されたものとする。作品の選出にあたっては、児童文学に関心のある作家、評論家、詩人、教育者、ジャーナリスト、NHK地方局など約500人にアンケートで作品の推薦を依頼する。選考委員がこのアンケートに基づいて賞を決定する。選考委員は次の通りである。

第1回	川端康成	久保田万太郎	竹山道雄	坪田譲治	藤田圭雄	NHK
第2回	川端康成	竹山道雄	藤田圭雄	村岡花子	サトーハチロー	NHK
第3回	村岡花子	波多野完治	筒井敬介	藤田圭雄	羽仁 進	NHK
第4回	大佛次郎	壺井 栄	田中澄江	藤田圭雄	筒井敬介	NHK

本賞は1名で記念品と賞金20万円を贈る。該当者がいない場合には若干名に奨励賞を贈る。発表と授賞式は、3月上旬の放送記念日前後に行われる。

なお、昭和41年度からは、NHK読書委員会に児童部門を設け、1年に4回児童図書の推薦を行うことになり、この賞は廃止された。読書委員は、大佛次郎、坂西志保、藤田圭雄、崎川範行、柳内達雄、神宮輝夫、鳥越 信、七条美喜子の諸氏である。

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
1回(38) 奨励賞	吉 田 と し	巨人の風車 (少年少女長編小説シリーズ)	理 論 社	37	206
"	香 山 美 子	あり子の記 (創作少年文庫)	理 論 社	37	222
"	中 川 李枝子	いやいやえん	福音館書店	37	177
2回(39) 本 賞	若 谷 和 子	小さい木馬	野ばら社	38	289
3回(40) 奨励賞	稲 垣 昌 子	マアおばさんはネコがすき (ジュニアロマンスブック)	理 論 社	39	196
"	岡 野 薫 子	銀色ラッコのなみだ ——北の海の物語——	実業之日本社	39	206
"	松 谷 みよ子	小さいモモちゃん	講 談 社	39	156
4回(41) "	今 西 祐 行	肥後の石工	実業之日本社	40	209
"	庄 野 英 二	雲の中のにじ	実業之日本社	40	199
"	小 沢 正	目をさませトラゴロウ	理 論 社	40	150

日 本 児 童 文 学 者 協 会 賞

日本児童文学者協会は、児童文学の創作機運を促進する目的で、昭和26年から「児童文学賞」「新人賞」による表彰を実施して来たが、36年から二つの賞を廃止し、代って「日本児童文学者協会賞」を設けた。前年中に発表された創作児童文学(童話、小説、劇、詩、童謡、評論、その他)の作品中、新人の秀作に授賞する。

選出にあたっては、協会に調査委員会と審査委員会が設けられる。調査委員会は、単行本、雑誌、同人誌等の諸作を調査し、会内外の批評家、作家、ジャーナリストに推薦の依頼をする。その回答をもとに、委員会で討議し、候補作品を選び、それを審査委員会で審議決定する。

発表は、「日本児童文学」誌上で、授賞式は、毎年4月の年次総会の席上で行われる。受賞者には、賞状と賞金3万円が授与される。

なお、審査委員は次の通りである。

第1回	植田敏郎	菅 忠道	渋谷清視	神宮輝夫	香山登一	関 英雄
	高山 毅	塚原健二郎	古田足日	山本和夫	与田準一	

Library Science No. 5 1967

第 2 回	酒井朝彦 那須辰造	菅 忠道 山本和夫	関 英雄 与田準一	神宮輝夫	塚原健二郎	鳥越 信
第 3 回	与田準一 鳥越 信	滑川道夫 神宮輝夫	小出正吾 山主敏子	酒井朝彦	菅 忠道	関 英雄
第 4 回	石森延男 神宮輝夫	与田準一	塚原健二郎	滑川道夫	関 英雄	菅 忠道
第 5 回	滑川道夫 塚原健二郎	石森延男	関 英雄	神宮輝夫	与田準一	菅 忠道
第 6 回以降	坪田譲治 平塚武二	滑川道夫	鳥越 信	藤田圭雄	関 英雄	神宮輝夫

兄 童 文 学 賞

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
1 回(26)	壺 井 栄 岡 本 良 雄	柿の木のある家 イツモシズカニ (「動物列車」所収) あすもおかしいか ラクダイ横丁	暮しの手帖社 育英出版 「銀 河」 「銀 河」	26 22 22年10月号 22年 2 月号	54
2 回(27)	該当作なし				
3 回(28)	〃				
4 回(29)	〃				
5 回(30)	国 分 一太郎	鉄の町の少年	新 潮 社	29	264
6 回(31)	菅 忠 道	日本の児童文学	大 月 書 店	31	327
7 回(32)*	該当作なし				
8 回(34)	〃				
9 回(35)	〃				

兄 童 文 学 新 人 賞

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
1 回(26)	松 谷 みよ子	貝になった子供	あかね書房	26	150
2 回(27)	さがわ みちお 前 川 康 男	鷹の子 川将軍	「魂あいふれて」 「びわの実」	2 号	
3 回(28)	大 石 真	風信器	「童 苑」	9 月号	
4 回(39)	いぬい とみこ	つぐみ	「麦」	3 月号	
5 回(30)	該当作なし				
6 回(31)	今 西 祐 行 長 崎 源之助	「ゆみこのりす」他一連の作品 トコトンヤレ チャコベエ 赤毛のポチ	「日本児童文学」 「日本児童文学」 「童話文学」 「小さな仲間」連載	32年 1 月号 31年 2 月号	
7 回(32)	山 中 恒 杉 みき子	かくまきの歌	「日本児童文学」	32年2・3月号	
8 回(34)	宮 口 しづえ 岩 崎 京 子 森 宣 子 立 原 えりか	ミノスケのスキー帽 (小学生全集) さぎ サラサラ姫の物語	筑 摩 書 房 「日本児童文学」 日本童話会 著 者 発 行	32 33年 5 月号	194
9 回(35)	小 笹 正 子 加 藤 明 治 佐 藤 暁 古 田 足 日	ネーとなかま 鶴の声 だれも知らない小さな国 現代児童文学論	「いたどり」 「日本児童文学」 講 談 社 くろしお出版	1 号 34年 4 月号 34 34	202 253

* 授賞式の日時変更により昭和33年には授賞式はなし。

日本の児童図書賞

日本児童文学者協会賞

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
1 回(36)	鈴木 実 高橋 徳義 笹原 俊雄 榎 仙一郎 植松 要作	山が泣いている	理 論 社	35	267
2 回(37)	早 船 ちよ	キューポラのある街	弥生書房	36	264
3 回(38)	香 山 美子	あり子の記	理 論 社	37	222
4 回(39)	庄 野 英二	星の牧場 (名作プレゼント)	理 論 社	38	180
	神 宮 輝 夫	世界児童文学案内	理 論 社	39	214
5 回(40)	たかし よいち 稲 垣 昌 子	埋もれた日本 マアおばさんはネコがすき (ジュニアロマ ンブック)	牧 書 店 理 論 社	39	230 196
6 回(41)	今 西 祐 行 那須田 稔	肥後の石工 シラカバと少女	実業之日本社 実業之日本社	40 40	209 193
7 回(42)	古 田 足 日	宿題ひきうけ株式会社 (ジュニアロマ ンブック)	理 論 社	41	202

日本児童文学者協会短篇賞

短篇創作に新風を求めようという趣旨で、昭和40年に日本児童文学者協会が設けた。授賞対象となる作品は、①400字詰原稿用紙50枚までの未発表の童話、少年小説で、作者が自発的に投稿したもの、②同人誌、サークル誌などに発表されたもの、③「日本児童文学」に発表された新人の作品とする。これらの中から、選考して、「日本児童文学賞」とあわせて発表する。第1回、第2回の審査委員は、猪熊葉子、いぬいとみこ、大石 真、上笙一郎、斎藤英男、塚原亮一、古田足日の諸氏である。

受賞者には、賞状とメダル、賞金2万円が贈られる。

回 (昭 和)	作 者	題 名	掲 載 誌
1 回 (41)	和 田 登	虫	「とうげの旗」44号
2 回 (42)	山 下 夕美子	二年二組はヒヨコのクラス ひろしまのオデット	「ひろしまの家」11号 「ひろしまの家」12号

野間児童文芸賞

野間文芸賞は、毎年その1年間に発表された文芸作品中、最もすぐれた作品1編について授与されるもので、昭和17年に講談社初代社長野間清治の遺志により設けられた。昭和38年以降、児童の人間形成に役立つ児童文芸の興隆発展に寄与するため、児童部門を独立させ、新たに「野間児童文芸賞」として発足した。

授賞の対象は、児童を対象として創作された小説、童話、戯曲、ノンフィクション、詩、童謡、その他で、前年の7月16日から授賞年度の7月15日までの1年間に、新聞、雑誌、単行本等に新しく発表された作品とする。作品の選出にあたって、作家、画家、批評家、各出版社の雑誌、書籍の編集長、全国の図書館長、新聞社の学芸部長、映画、テレビ、ラジオ関係者、教育者に推薦を依頼する。この推薦に基づき、銓衡委員会が審議、決定する。委員は、第1回より現在まで石坂洋次郎、石森延男、源氏鶏太、坪田譲治、壺井 栄、鳥越 信、滑川道夫、浜田広介、福田清人、山岡荘八、与田準一の諸氏である。

最優秀作品一点には、賞牌と副賞50万円、推奨作品若干には、賞牌と副賞5万円が贈られる。
発表は、11月上旬で、講談社発行の各雑誌に掲載される。

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
1 回(38)	石 森 延 男	パンのみやげ話	東 都 書 房	37	312
2 回(39)	庄 野 英 二	星の牧場 (名作プレゼント)	理 論 社	38	180
	松 谷 みよ子	小さいモモちゃん	講 談 社	39	156
3 回(40)	いぬいとみこ	うみねこの空	理 論 社	40	276
4 回(41)	福 田 清 人	秋の目玉 (児童文学創作シリーズ)	講 談 社	41	191

サンケイ児童出版文化賞

児童図書、出版文化、優良図書の普及のため、昭和29年、産経新聞社が産経児童出版文化賞を制定した。36年からは賞の内容を、大賞、賞、推薦の三段階にわけ、さらに37年には、「産経」を「サンケイ」とあらためた。前年三月からその年の二月末までに発刊された新刊児童図書すべて(雑誌は含まない)のリストをもとに、審査委員会が候補リストを作成する。その際、全国各出版社の自薦、児童文化に関心をもつ全国の文化人並びに学校関係者の他薦をも参考にする。同時に絵本部門の小委員会では、絵本のみの候補リストを作り、二つの候補リストに基づいて審査委員会を開き、討議の結果、大賞1点、賞5点、推薦図書20点を決定する。大賞の著者には賞状と賞金50万円、出版社には賞状とブロンズ像、賞の著者には賞状と賞金5万円、出版社には賞状とブロンズ像、推薦の著者には賞状、出版社には賞状と楯が贈られる。受賞図書は毎年5月5日、サンケイ新聞紙上に発表される。

なお、審査委員は次の通りである。

第 1 回	小川未明 坪田譲治 古谷綱武 和歌森太郎	勝田守一 中島健蔵 宮原誠一	金森徳次郎 滑川道夫 百田宗治	坂西志保 波多野完治 矢島祐利	菅井準一 服部静夫 八杉龍一	周郷 博 羽仁説子 柳田国男
第 2 回	小川未明 波多野完治 宮原誠一	金森徳次郎 服部静夫 八杉龍一	坂西志保 羽仁説子 柳田国男	菅井準一 浜田広介 与田準一	中島健蔵 藤田圭男 和歌森太郎	滑川道夫 古谷綱武
第 3 回	坂西志保	菅井準一	坪田譲治	富田義雄	中島健蔵	滑川道夫
第 4 回	菅井準一 浜田広介 与田準一	坪田譲治 羽仁説子 吉田瑞穂	富田義雄 福田清人 和歌森太郎	中島健蔵 宮原誠一	滑川道夫 村岡花子	服部静夫 八杉龍一
第 5 回	菅井準一 羽仁説子 与田準一	富田義雄 福田清人 和歌森太郎	中島健蔵 宮原誠一 (産経新聞社 1 名)	滑川道夫 村岡花子	服部静夫 八杉龍一	浜田広介 吉田瑞穂
第 6 回	石森延男 吉田瑞穂 菅井準一	服部静夫 滑川道夫 (産経新聞社 2 名)	浜田広介 村岡花子	富田義雄 八杉龍一	和歌森太郎 福田清人	与田準一 宮原誠一
第 7 回	石森延男 吉田瑞穂 菅井準一	服部静夫 滑川道夫 (産経新聞社 3 名)	浜田広介 村岡花子	富田誠一 八杉龍一	和歌森太郎 福田清人	与田準一 宮原誠一
第 8 回	菅井準一 宮原誠一	富田義雄 村岡花子	滑川道夫 八杉龍一	浜田広介 与田準一	服部静夫 吉田瑞穂	福田清人 和歌森太郎
第 9 回	菅井準一 村岡花子	富田義雄 八杉龍一	滑川道夫 与田準一	浜田広介 吉田瑞穂	服部静夫 和歌森太郎	福田清人
第 10 回	鷺谷 昂 福田清人	菅井準一 宮原誠一	富田義雄 八杉龍一	滑川道夫 与田準一	羽仁説子	早川元二
第 11 回	以後変更なし。					

日本の児童図書賞

回(昭和)	著者	書名(シリーズ名)	出版社	出版年	ページ
1回(29)	朝日新聞社編	少年朝日年鑑	朝日新聞社	27	455
	城戸幡太郎他編	私たちの生活百科事典 全17巻	生活百科刊行会	26-29	
	岩波書店編	科学の学校 全37冊	岩波書店	27-29	
	小川未明他編	日本児童文学全集 全12巻	河出書房	28-30	
	国分一太郎編	綴方風土記 全8巻	平凡社	26-29	
	岡沢一夫・飯沢匡	ヘンゼルとグレーテル	トッパン	28	30
	ホワイト, 後藤富男訳	埋もれた世界—考古学者の物語—	岩波書店	28	344
	ホワイト, 鈴木哲子訳	こぶたとくも	法政大学出版局	28	263
	佐藤義美	あるいた雪だるま	泰光堂	28	180
	宮城音弥	眠りと夢 (学校図書館文庫)	牧書店	28	134
2回(30)	滑川道夫他編	学校図書館文庫 第一期 全50巻	牧書店	28-30	
	高橋健二他編	世界少年少女文学全集 全32巻	創元社		
	吉野源三郎編	岩波子どもの本	岩波書店		
	桑原万寿太郎	ミツバチの世界(少国民のために)	岩波書店	29	203
	須見五郎	日本人漂流ものがたり	毎日新聞社	29	268
	堀江誠志郎	山ではたらく人びと(小学生全集)	筑摩書房	29	187
	朝日新聞社編	たのしい観察—生きもののしらべかた—	朝日新聞社	30	88
	朝日新聞社編	たのしい採集—標本のつくりかた—	朝日新聞社	30	88
	平凡社編	児童百科事典 全24巻	平凡社	26-31	
	柳田国男監修	日本のむかし昔 全6巻	実業之日本社	29	
特別賞	永井萌二	ささぶね船長	新潮社	30	243
	那須辰造	緑の十字架	同和春秋社	30	216
	福田豊四郎	美しさはどこにでも (学校図書館文庫 第二期)	牧書店	31	233
	高島春雄	絵本, こどものとも 11冊	福音館書店		
	今泉篤男	学習図鑑シリーズ4 鳥類	小学館	31	160
	志賀直哉他監修	西洋の美術	小峰書店	31	285
	浜田広介	少年少女日本文学選集 全30巻	あかね書房	31-32	
	綿引まさ	浜田広介童話選集 全6巻	講談社	31	253
	平凡社編	友だちのことでこまることはありませんか?(私たちの相談室3)	東西文明社	32	220
	学習研究社編	世界の子ども 全15巻	平凡社	30-32	
5回(33)	石森延男	少年少女学習百科大事典 理科編	学習研究社	32	8-12巻
	福田清人	コタンの口笛 第1部あらしの歌, 第2部光の歌	東都書房	32	
	市川禎男他	天平の少年 (少年少女日本歴史小説全集)	講談社	33	256
	柳内達雄	子どもの舞台美術	さ・え・ら書房	32	322
	前川文夫	私たちの詩と作文(みつばち文庫)	国土社	32	201
	八杉龍一	玉川こども百科 第81巻 夏の植物 第82巻 秋・冬の植物 第86巻 春の植物	誠文堂新光社	33-34	
		人間の歴史 (少年少女最新科学全集)	あかね書房	33	248

回 (昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出版年	ページ
7 回(35) 特別出版賞	槇 有 恒	ピッケルの思い出 (牧少年少女文庫)	牧 書 店	33	174
	吉 野 源三郎	エイブ・リンカーン(岩波少年文庫)	岩 波 書 店	33	356
	平 野 威馬雄	レミは生きている ーある混血児のおいたちー	日本児童文庫刊 行 会	33	295
	木 下 順 二	日本民話選 (岩波少年文庫)	岩 波 書 店	34	262
	大 谷 省 三	こどものとも 自然をつくりかえる (牧少年少女文庫)	福 音 館 書 店		
	小峰書店編集部編	目で見る学習百科事典 全8巻	牧 書 店	34	210
	菅 井 準 一	科学の歴史	小 峰 書 店	32-34	
	阿 川 弘 之	なかよし特急	あかね書房	35	208
	滑 川 道 夫 編	少年少女つづり方作文全集全10巻	中央公論社	34	71
	講 談 社 編	世界童話文学全集 全18巻	東京創元社	34-35	
8 回(36) 大賞 賞	坪 田 譲 治 編	新美南吉童話全集 全3巻	講 談 社	34-36	
	松 谷 みよ子	龍の子太郎	大日本図書	35	
	はまだひろすけ	あいうえおのほん 一字をおぼえはじめた子どものためのー	講 談 社	35	192
	石田英一郎他 編	人類の誕生(科学図説シリーズ 4)	童 心 社	35	50
	井 尻 正 二	地球のすがた (目で見る学習百科 1)	小 学 館	35	158
	早 船 ち よ	ポンのヒッチハイク	偕 成 社	35	273
	安 藤 美紀夫	白いりす	理 論 社	37	198
	ザルテン芦田弘夫他訳	ザルテン動物文学全集 全7巻	講 談 社	36	190
	朝比奈貞一他 編	少年少女世界伝記全集 全15巻	白 水 社	35-36	
	畠 山 久 尚 他	地球の科学(科学図説シリーズ 7)	講 談 社	36	
10回(38)大賞			小 学 館	37	158
72号	三 好 碩 也作画	こどものとも 72号~83号 うちゅうの七にんきょうだい	福 音 館 書 店	37年 3 月号	
73号	ピアノキ作山田三郎画	かもときつね		37年 4 月号	
74号	ロシア民話 内 田 莉 莎 子 訳 佐 藤 忠 良 画	おおきなかぶ		37年 5 月号	
75号	松 居 直 再話 赤 羽 末 吉 画	だいくとおにろく		37年 6 月号	
76号	加 古 里 子 作画	かわ		37年 7 月号	
77号	瀬田貞二作寺島龍一画	あふりかのたいこ		37年 8 月号	
78号	岸 田 鈴 子 作 中 谷 千 代 子 画	かばくん		37年 9 月号	
79号	中国民話 君島久子訳 瀬川康男 画	つきをいる		37年10月号	
80号	グリム童話 大塚勇三訳 宮脇公実画	あかずきん		37年11月号	
81号	チャペック原作 三 好 碩 也 文画	てんからふってきたたまごのはなし		37年12月号	
82号	大塚勇三再話 土方久功画	おおきなかぬー		38年 1 月号	

日 本 の 児 童 図 書 賞

回 (昭 和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出版年	ページ
83号	ロシア民話 内 田 莉 紗 子 訳 佐 藤 忠 良 画	ゆきむすめ		38年2月 号	
賞	吉 田 比 砂 子	コーサラの王子	講 談 社	38	170
	中 川 李 枝 子	いやいやえん	福 音 館 書 店	37	177
	ケストナー・ 高 橋 健 二 訳	ケストナー少年文学全集 全8冊	岩 波 書 店	37	
	林 寿 郎 編	少年少女日本動物記 全5冊	牧 書 店	36	
	武 谷 三 男 星 野 芳 郎 共著	物理の世界 (少年少女学習百科 全集12)	講 談 社	38	318
11回(39)大賞		科学図説シリーズ 全12巻	小 学 館	35-39	
賞	庄 野 英 二	星の牧場	理 論 社	38	180
	椋 鳩 十	孤島の野犬 (少年少女教養文庫)	牧 書 店	38	226
	岡 野 薫 子	銀色ラッコのなみだ 一北の海 の物語一	実業之日本社	39	206
	馬 場 のぼる	きつね森の山男 (ポニーブックス 10)	岩 崎 書 店	38	46
	古 原 和 美	ヒマラヤの旅一未知をさがって一	理 論 社	38	172
12回(40)大賞	松 居 直 文 赤 羽 末 吉 絵	ももたろう	福 音 館 書 店	40	39
賞	岩波書店編集部 編 菅 井 準 一	科学の事典 アインシュタイン (世界偉人全 集48)	岩 波 書 店	39	1305
	阿 部 襄	貝の科学 (少年少女教養文庫 8)	偕 成 社	39	300
		アンデルセン童話全集 全8巻	牧 書 店	40	208
13回(41)大賞	加 藤 陸奥雄	少年少女日本昆虫記 全5巻	講 談 社	38-39	
		さ・え・ら伝記ライブラリー	牧 書 店	39-40	
賞	山 内 義雄他 編	国際児童文学賞全集	さ・え・ら書房 あかね書房	40-41	1-10巻
	①E. グージ. 石 井 桃 子 訳	まぼろしの白馬			
	②A. マスパン. 河 盛 好 蔵 訳	灰色の谷の秘密			
	③デンネボルク. 高 橋 健 二 訳	ヤンと野生の馬			
	④E. ビラート. 岩 崎 純 孝 訳	ジョニーのぼうけん旅行			
	⑤M. フェーグリ. 山 口 四 郎 訳	ふしぎなランプ			
	⑥メドウェーデフ. 袋 一 平 訳	バランキン君のふしぎな一日			
	⑦H. クルマン. 神 宮 輝 夫 訳	デビッドの秘密の旅			
	⑧レイフ・ハイム. 山 室 静 訳	オッター-32号機 SOS			
	⑨M. レングル. 渡 辺 茂 男 訳	五次元世界のぼうけん			

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出版年	ページ
14回(42)大賞 賞	⑩ S. パンフォード, 山 本 まつよ 訳	三びき荒野を行く			
	⑪ ナン・チョンシー, 白 木 茂 訳	みどりの秘島			
	⑫ ルネ・ギヨ, 波多野 完 治 訳	ミシエルのかかった冒険			
	リンドグリーン, 大塚勇三・尾崎義訳	リンドグリーン作品全集 全12巻	岩 波 書 店	39-40	
	生源寺 美 子	草の芽は青い	講 談 社	41	197
	安 藤 美紀夫	ポイヤウンベ物語	福音館書店	41	189
	与 田 準 一	与田準一全集 全6冊	大日本図書	42	
	藤 本 陽 一	原子力への道を開いた人々(さ・え・ら伝記ライブラリー15)	さ・え・ら書房	41	272
	泉 靖 一	インカ帝国の探険(少年少女世界の名著30)	あかね書房	41	203
	ルイス 瀬 田 貞 二 訳	ナルニヤ国ものがたり 全7巻	岩 波 書 店	41	
	今 江 祥 智	海の日曜日(創作少年少女小説)	実業之日本社	41	195
	香 山 彬 子	シマフクロウの森	講 談 社	42	192

小 学 館 文 学 賞, 同 絵 画 賞

昭和27年に、小学館創業30周年を記念して、児童文化の振興に寄与するために設けられた。当時は小学館児童文化賞のもとに、文学部門と絵画部門がおかれていたが、昭和35年、趣旨を明確にするために、両部門を独立させ、小学館文学賞、小学館絵画賞とした。授賞対象となるのは、前年4月からその年3月までの雑誌、単行本にのった作品で、市販、同人を問わない。読者、父兄、作家、文化人にアンケートを出し、応募作品の推薦を依頼し、作品のリストを作る。審査員は、今までに、絵画賞では、川上四郎、武井武雄、松崎一夫、宮田重雄、三芳悌吉、向井潤吉、鈴木信太郎、文学賞では、石坂洋次郎、円地文子、西条八十、斎田 喬、壺井 栄、与田準一、浜田広介、獅子文六、佐藤春夫、坪田譲治、尾崎士郎、室生犀星、秋田雨雀の諸氏が名を連ねている。授賞式は11月1日、受賞作品は、雑誌、新聞、日販、東販のパンフレット紙上で発表される。受賞者には、清水多嘉示製作のブロンズ像「陽光」と、賞金20万円が贈られ、同社発行の児童雑誌、単行本で活躍する機会が与えられる。

小 学 館 文 学 賞

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
1 回(27)	奈 街 三 郎	まいごのドーナツ	「幼年クラブ」		
	住 井 す え	みかん	「小学五年生」		
	土 家 由岐雄	三びきのこねこ	「幼年クラブ」		
2 回(28)	永 井 麟太郎	お月さまをたべたやっこだこ	「一年の学習」	2 月号	
	伊 藤 永之介	五郎ぎつね	「小学五年生」	1 月号	
	二反長 半	小牛の仲間	「小学五年生」	3 月号	
3 回(29)	落 合 聡三郎	誕生日の贈りもの(「新しい学校劇高学年編」所収)	桜 井 書 店	28	
4 回(30)	鶴 田 知 也	ハツタラはわが故郷	「小学六年生」	29年4月号- 30年3月号	

日 本 の 児 童 図 書 賞

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年	ページ
5 回(31)	小 山 勝 清	山犬少年	「中学生の友」連載	31年12月号	
6 回(32)	打 木 村 治	夢のまこと	「小学六年生」		
7 回(33)	西 山 敏 夫	よこはま物語	「朝 の 笛」		
8 回(34)	佐 伯 千 秋	燃えよ黄の花	「女学生の友」		
9 回(35)	新 川 和 江	季節の花詩集	「中学一年コース」		
10回(36)	該当者なし				
	佳作賞 三 木 澄 子	ひなぎく咲く道	「小学五年生」—	34年3月号—	206
			「小学六年生」	36年3月号	
	日 下 実 男	ロケットよ土星をめざせ	「六年の学習」	36年1月号	
11回(37)	花 岡 大 学	ゆうやけ学校	理 論 社	36	
12回(38)	大 石 真	見えなくなったクロ	「たのしい六年生」	37年4月号	
	万 足 卓	おやだぬきとこたぬきの唄	朝 日 出 版 社	38	150
13回(39)	山 本 和 夫	燃える湖 第1巻 戦場のひみつ 第2巻 はくはつする雲 (ジュニアロマンブック)	理 論 社	39	226
14回(40)	久 保 喬	ビル山のねこ	新 星 書 房	39	
15回(41)	西 沢 正太郎	青いスクラム	東 都 書 房	40	

小 学 館 絵 画 賞

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年
1 回(27)	安 泰	創作意欲及び教育性の高い点		
	井 口 文 秀			
	渡 辺 郁 子			
2 回(28)	鈴 木 寿 雄	童画		
	奨励賞 三 芳 悌 吉	少年少女挿絵		
	奨励賞 倉 金 章 介	漫画		
3 回(29)	茂田井 武	「キンダーブック」に連載した一連の作品		
4 回(30)	中 尾 彰	なかよし幼稚園	「チャイルドブック」	29年9月号
		にこにこちろちゃん	「チャイルドブック」	30年1月号
		羊さんとおしくら	「チャイルドブック」	30年2月号
5 回(31)	岩 崎 ちひろ	夕日	「4 年 の 学 習」	
6 回(32)	渡 辺 三 郎	金になったおひめさま その他	「チャイルドブック」	32年9月号
7 回(33)	太 田 大 八	くもさん		
8 回(34)	柿 本 幸 造	いたずらうさぎ その他	こどものとも	
		みなと	「一年の学習」	
		こだまごう		
9 回(35)	深 沢 邦 朗	なかよしぶらんこ	「ひかりのくに」	
		ぞうのはなはなぜながい 他一連の作品に対して		
10回(36)	遠 藤 てるよ	なつかしの友	「幼稚園」	
		うらない	「中学の友二年生」	
		しんぶんはいたつ	連載	
11回(37)	佳作賞 北 田 卓 史	こどものせかいの表紙絵 その他の作品について	「五年の学習」連載	
	“ 赤 羽 末 吉	日本の神話と伝説 その他の作品について	「三年の学習」	
			至 光 社	
			さ・え・ら書房	

回(昭和)	著 者	書 名(シリーズ名)	出 版 社	出 版 年
12回(38)	清 水 勝	昆虫と植物(科学図説シリーズ) その他一連の作品	小 学 館	
13回(39)	井 江 春 代	かえるのけろ	「ひかりのくに」	
14回(40)	中 谷 千代子	かばくんのふね	「こどものとも」	
		まいごのちろ	「こどものとも」	
		おおきなくま	「ひかりのくに」	
15回(41)	特別賞 谷 俊 彦 福田 庄 助	百羽のつる そんごくう その他の作品	実業之日本社 盛 光 社	

注記 1. () 内は受賞年である。

2. 受賞図書の書誌的事項は受賞対象となった版のものである。

追 補 野 間 児 童 文 芸 賞 推 奨 作

回(昭和)	著 者	書 名	出 版 社	出 版 年	ページ
1回(38) 推奨	石 川 光 男	若草色の汽船	東 都 書 房	38	152
"	中 川 李 枝 子	いやいやえん	福 音 館 書 店	37	177
3回(40) "	岡 野 薫 子	やまねこのきょうだい	実業之日本社	40	223
"	おのちゅうこう	風は思い出をささやいた	講 談 社	40	184